



灸道湖

第188号

2022年1月



松江医療センターマスコットキャラクター松丸くん (お正月バージョン)

もくじ

令和4年「新年のご挨拶」	2
教育研修部コラム「El Condor Pasa.」	3
職場紹介	4～5
摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動紹介	5
草刈りの実施について	6

地元開催ミュージカル「あいと地球と競売人」 のポスターを作成しました	7
成人・還暦式 お祝い会	8～9
開業医紹介	10
地域医療連携室だより	11
外来診療表	12



令和4年 「新年のご挨拶」

院長 井岸 正

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしく願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、結局のところ新型コロナウイルス感染症に関することになってしまいます。昨年の年始は流行の第3波の渦中にあり、収束の目途も立たない状態でありました。その後ゴールデンウィーク前後で第4波、お盆前後で第5波を経験しました。特に第5波は強烈で、島根県でも入院病床の不足を来し、自宅療養を行わざるを得ない状況となりました。当院でも能力の限界まで達し、どうなるか不安な時期もありました。9月には、急激に感染者数が減少し、危惧されていた第6波には至らず年末を迎えました。

対策に関しますと、新型コロナウイルスの感染が問題となって、1年足らずでワクチンが実用化されたことには、個人的には技術の進歩に感銘すら覚えました。当初、接種開始が海外より遅れたことへの批判もありましたが、昨年を通してみれば、接種率は世界のトップレベルまで達しました。当院では、データ収集を条件に国立病院機構主導の職員向けの先行接種を行いました。また、集団接種への医師、看護師、事務職員を派遣し、国を挙げての一大事業に協力いたしました。当初、ワクチン接種が進めば感染を抑え込め、日常が

戻ってくるとの期待感がありました。残念ながら、そこにはいまだ至っておりませんが、発症・重症化予防や死亡率の低下には寄与しているのは確かでしょう。

さて、昨年末には感染力が増したとされるオミクロン株の市中感染が確認され、すでに流行の第6波の渦中にあります。ただ、悪い話ばかりではなく、新型コロナウイルス感染に対するいくつかの経口薬が承認の見通しです。おそらく今年はそれらを含む種々の治療薬を使いながら、より効果的な治療が可能になると予測しています。オミクロン株は弱毒化しているともいわれており、あいまって制御可能な感染症となっていくことを期待しているところです。今年こそは新型コロナウイルス感染症への恐怖から解放される年になることを願いつつ、それまで病院としての社会的責任を果たしていくとの決意をあらためて持ち、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





～ 教育研修部 コラム ～

“El Condor Pasa.”

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

皆様、あけましておめでとうございます！

2021年11月に教育研修部は10周年を迎えました。初めは試行錯誤の連続でしたが、皆様のご支援のおかげでここまで成長させていただきました。引き続き院内教育の充実と院外への情報発信を行っていきたいと思います。本年もよろしく願いいたします！

その情報発信の場である松江呼吸器セミナー。2020年には予定していた「第11回」を涙を飲んで中止。2021年11月27日に当院スタッフを対象を限定して開催致しました。教育研修部のスタッフ、また演者と座長を引き受けていただいた皆様、そして参加していただいた職員の皆様、ありがとうございます。今年は是非通常開催したい！と考えています。こんなご時世です。できそうなことから少しずつやっっていこうと思います。できなければまた考えればいいのですから。

今年は個人的にもなかなか大きな仕事を抱えることになります。その一環で細々と続けていた英語の勉強のintensityを上げなくてはならなくなりました。そんな中出てきたのが“If I were a bird, I would fly to you.”という仮定法過去の代表的な例文。そういえばこれを若い女性が叫ぶCMが昔あったような気がします。この例文にある“bird”。皆さんはどんな鳥を思い浮かべるでしょうか？スズメやツバメなどの小さい鳥？それともハト？ハクチョウ？ましてやカモメ？まず思い浮かんだのはトンビでした。でも“fly to you”というイメージとはちょっと違う。

さらに考えてみます。猛禽類でもっとそのイメージに近いもの。あ、コンドルが近いかな？昔動物園で見たことがあります。と思ったらタイトルのあの曲を久しぶりに思い出しました。でも歌詞を見るとあの曲には意外にもcondor（コンドル）は出てき

ません。出てくるのはsparrow（スズメ）とswan（ハクチョウ）だったりします。

翼開長約3m。翼を広げて優雅に円を描きながら高いところを滑空するコンドル。ほとんど羽ばたかずに上昇気流をうまく使ってたかーいところに上がって、滑空するのがコンドルの飛び方なんだそうです。こんな感じで飛べたらいいのに。上昇気流を掴むのはコンドルの腕（翼？）の見せ所でしょうか？飛び立つのも自分の意思。決めるってことは自立してるってこと。ってことは多分孤独ってこと。グルグル回るのも自分の意思。あの高さなら全てが俯瞰できるでしょう。

ならば…

Yes, I would. If I only could. I surely would.

ありがちなイメージかもしれませんが、なんかこれってメタ認知っぽいなぁなんて思いませんか？メタ認知しながら自分で意思決定して滑空できればかっこいいっすよね、なんて思ったりしてみたり。。

とうとう考えすぎかコンドルまでそんなイメージにしてしまいました。コンドルって飛んでるところがカッコいいのですが、実は着地も良き。これはタモリさんがする「コンドルの着地」モノマネがオモロイのです。着地したら大きな翼を上手に畳んで、シレッとしてる。これもカッコいい。地上に降りたらそのように振る舞うところがなんだかgentleかつnobleですらあります。

Yes, I would. If I only could. I surely would.

皆様どうかご自愛ください。

教育研修部は皆様のご健康をお祈りしております。

コロナ禍で思うこと



感染防止対策室

感染管理認定看護師 看護師長 中田 早苗

感染防止対策室は、室長の池田統括診療部長と専従である私の二人が所属しています。感染防止対策室の大きな役割は、院内感染の発生を未然に防ぐとともに、感染症発生時の原因特定および拡大防止に努めることです。例年、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症流行期は、内心はらはらしながら祈る気持ちで毎日過ごしていました。

さて、この2年間はというと、新型コロナウイルス感染症対策に翻弄する日々で、コロナを持ち込まない、持ち込ませないということに全力を注いできました。昨年11月、外来部門の対策強化として、問診やトリアージの方法、COVID-19抗原およびPCR検査の流れについて関係者とシミュレーション（写真）を行い、院内体制の整備を行いました。今のところ、患者さんやご家族、全職員のご協力により院内感染はありませんが、まだまだ変異株との戦いは続くと思われ、随時、感染対策の見直しをしているところです。特に、デルタ株が猛威を振るった第5波が終わって思うことは、コロナに対する正しい知識をもって正しく恐れ、手洗いや咳エチケット（現在はユニバーサルマスク着用）など、感染防止の基本対策を粛々と行うことに尽きるということでした。

昨年2月末から面会禁止の措置をとらせて頂いたことで、外出・外泊も制限され、患者さんやご家族の寂しく切ない気持ちに心苦しく思う日々でしたが、今年12月より障がい者の方々を対象に窓越し面会を始め、大切な人と対面して語り合えることの尊さと心の安寧について、あらためて気づかされました。コロナがもたらした数々の制約は、患者さんやそのご家族の普通の日常を一変させましたが、医療者にとっても数々の自粛生活に耐える日々をもたらしたとも言えます。今年2月ワクチン接種が始まった当初は、これでやっと長いトンネルから抜け出せると安堵した私でしたが、変異株の次々の出現により、あっさりと打ち砕かれました。

第6波に備えて3回目のコロナワクチン接種がスタートしましたが、地域一丸となって『命を守る』ということに重点をおき、ワクチン接種の推奨と引き続き感染対策にご協力頂きますよう、お願い致します。

栄養管理室

栄養管理室長 伊東 陽子

栄養管理室のスタッフは現在管理栄養士3名、調理師2名、調理助手6名で、調理業務の一部と食器洗浄業務を委託しています。食事は一般食の他に、糖尿病や高血圧といった生活習慣病や、摂食嚥下障害に対応した食事を中心に提供しています。

患者さんには入院中の食事で楽しみ、喜びを感じてもらうため、選択食や行事食等を実施し、異物混入や食中毒防止に努めて安全で信頼される食事の提供を心掛けています。また、患者さんからのご意見や嗜好調査の結果をもとに、新しいメニューや食材の検討を行っています。

入院患者さんには検査結果や食事摂取状況などを基に栄養状態の評価を行っています。治療等により食事が低下した患者さんには管理栄養士が訪問し、調理師と連携して食事内容の対応を行っています。さらに低栄養の患者さんに対しては、NST（栄養サポートチーム）等のチーム医療に参加し、多職種連携して栄養サポートを行っています。栄養状態の改善を目指すことで、病気の治療や早期の回復に役立てるよう取り組んでいますので、お気軽に管理栄養士までご相談下さい。



摂食・嚥下障害看護認定 看護師の活動を紹介します

4階東病棟 摂食・嚥下障害看護認定看護師 岸本 由香



令和2年12月に、摂食・嚥下障害看護認定看護師を取得しました。

摂食嚥下障害とは、食べ物を確認し飲み込むまでの過程のどこかが障がいされていることをいいます。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、「口から食べる」ことを目標に病院内の多職種スタッフ（言語聴覚士、栄養士）と話し合っ、摂食嚥下障害のある患者さんに援助を行っています。

私の具体的な活動としては栄養サポートチーム（NST）の活動や患者さんに摂食嚥下機能評価や、直接摂食嚥下ケアを行っています。NST委員会では栄養評価や口腔ケアについて勉強会を行い、研鑽を積んでいます。NSTラウンドでは患者さん個々の栄養状態の評価や栄養状態不良の患者さんの栄養状態の改善を目指して、食事形態の調整や栄養補助食品を追加するなど行っています。また、褥瘡患者さんの傷が少しでも早く治るように、栄養状態の管理等を行っています。

また、口腔ケアも大切な活動の一つです。患者さん個々のケア内容を病棟スタッフと共に考え、その患者さんにあったケアを実施しています。口腔内の不良は、齲歯や歯周病だけでなく、誤嚥性肺炎や脳血管疾患、糖尿病などの全身疾患にも影響すると言われています。口腔ケアを適切に行うことで、今食べることができなくても、口腔機能の改善を図り、摂食機能の回復につなげることができます。

今後も、看護師も含め多職種スタッフと連携し協力しあって活動を広げていけるように精進することが認定看護師としての役割です。



草刈りの実施について

管理課長 桑本 貴幸

10月21日(木)に病棟北側の草刈りを実施しました。

草刈りについては、事務部職員で年に数回程度実施していますが、雑草の生える範囲が広がってきたことや職員数も減少傾向にあることから、年々、シルバー人材センターに依頼する範囲が広がってきていました。

病棟北側については、これまでも道沿いを中心に実施していましたが、良く育った3年もの？の蔓や黄色い花がたくさん咲いている状況であり、数年ぶりに広範囲をさっぱりしたいということと、精鋭の看護師さんに協力していただけるという話がありましたので、計画しました。



時間の都合により、全て刈るという訳にはいきませんでした。看護部職員のご協力により事務部職員のみで行ったときと比べ、とても見晴らしの良い状態にすることができました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も定期的に行なっていますので、体力に自信のある方や運動不足の解消に是非やりたい！という方がいらっしゃいましたら管理課庶務班までご連絡をお待ちしております。(事前に職場長の許可をもらっておいてください)



地元開催ミュージカル 「あいと地球と競売人」 のポスターを作成しました

療育指導室 児童指導員 和田 勇貴

今回、縁があり当院の患者さんに 1994 年から上演が続くミュージカル『あいと地球と競売人』のポスター作成の依頼がありました。いくつかの候補作を作り、提出し、編集を繰り返しながら取り組んでおられました。イラストの仕事の難しさを少し私自身も経験させていただきました。今回の依頼は、日頃より患者さんがデザインの作成に励み、努力の結果で縁ができたと思います。これから楽しみを見つけながら様々な経験を患者さんと一緒にしていければと感じます。

本人さんコメント

2021 年 11 月に公演された『あいと地球と競売人』のポスター作成をしました。

あの有名な「あいと地球と競売人」のポスターを僕が描くことになるのは不思議なこともあるものです。僕は筋ジストロフィーという病気で入院生活を送りながら、わずかに動く指先と PC を使ってイラストを描くことを日課にしています。そんな僕のイラストが気に入ったからと今回のポスター制作が決まりました。嬉しさに比例してプレッシャーも大きいですが期待に応えるのに中途半端なことではできません。はじめにアイデアを練って試作を繰り返して少しずつ積み上げていくのがいつものスタイル。今回はこの工程を時間と体力の限界まで繰り返しておきましたので渾身のポスターになったと思います。

今後もデザインを地道に進めていきます。

西坂久己



ポスターデザイン



Tシャツにもなりました



パンフレットにも載りました。



成人・還暦式 お祝い会

療育指導室 主任保育士 渡部 みどり



11月9、10、11日に、1・2・3
病棟各デイルームにて「令和3年度
成人・還暦式 お祝い会」を行いま
した。

今年度は、1階病棟の方1名が還
暦、2階病棟3名の方が新成人、3
階病棟1名の方が還暦を迎えられま
した。コロナウイルス感染拡大も落
ち着きを見せ始めた中、十分な感染
対策を行い、各病棟で対象者の方と
その御家族、院長をはじめ病院職員
が参列し、心を込めて式典を挙行す
ることができました。

第一部では、御家族や職員に見守ら
れ、少し緊張されている様子も見られ
ましたが、正装して参列されている対
象者の皆様から、期待と喜びに満ち溢
れている様子が伝わってきました。院
長が式辞を述べ、家族会会長からお祝
いの言葉を頂いた後、病院より記念品
としてアルバムを事務部長、看護部長
より贈呈しました。今年は、答辞を「名
前ポエム」に託して、御家族に感謝と
これからの希望、期待を職員と一緒に
伝えられ、その後御家族にプレゼント
されました。





第二部のお祝い会では、主治医、看護師や御家族からお祝いのメッセージ頂きました。御家族の方々の20年、60年の思い出の伝わる言葉に、会場が感動し、また、温かい雰囲気になりました。そして、療育指導室からの贈り物として、「思い出のアルバム(スライドショー)」の視聴と歌のプレゼントを行いました。スライドショーでは、それぞれの生い立ちを振り返ることができ、参列した職員も、対象者の方や御家族の知らない一面を知ることのできる良い機会となりました。

そして最後に、愛を込めて療育指導室スタッフ一同が、新成人の方には、「♪風が吹いている」を、還暦の方には、「♪愛燦燦」を歌わせていただきました。成人、還暦は、人生の大切な節目です。今回の「成人・還暦式 お祝い会」が、対象者の皆様にとって特別な思い出となり、新たなスタートになれば幸いです。

新成人、還暦を迎えられたみなさん、おめでとうございます。



開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.35 医療法人 街道会 小林医院



当院は、当地にて約70年間、地域医療、健診、予防接種等に携わっています。

診療は、内科一般、循環器、消化器を中心に行っており、各病院、医療機関との連携も密にしています。

在宅医療として、訪問診療、訪問点滴、各訪問看護ステーションと連携し、夜間対応等も行っております。

又、施設内にグループホームあした葉を併設しており、看取りまでの治療も行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	○	8:30 ~ 12:00	○	○	○	○
午後 3:30~6:30	○	○	○	△	○	△

休診：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日 但し急患随時受付
※月1回糖尿病専門外来あり

医療法人 街道会 小林医院

〒690-0056 島根県松江市雑賀町264-3

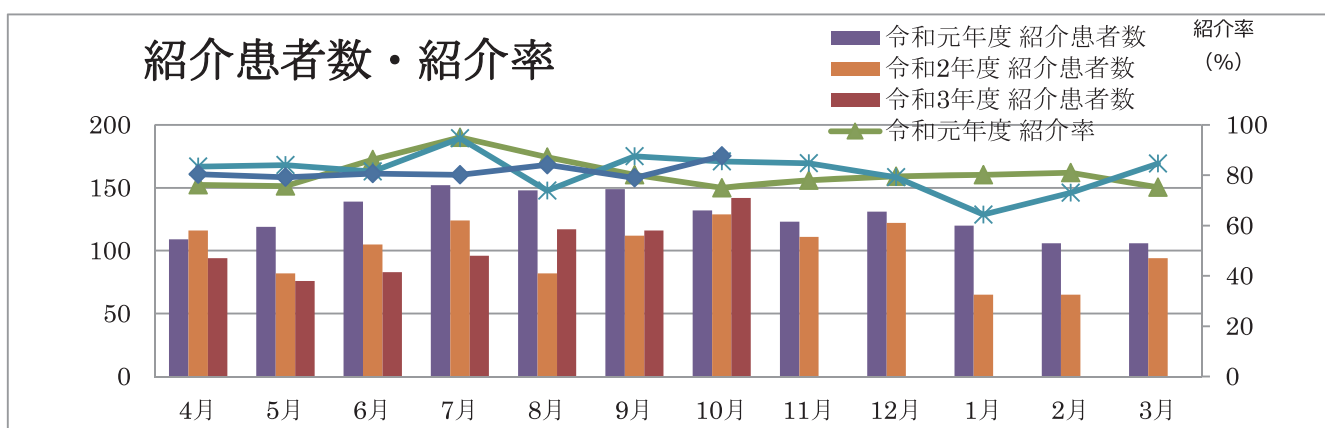
電話:0852-21-3407 FAX:0852-21-8700

地域医療連携室だより第45号 2022年1月

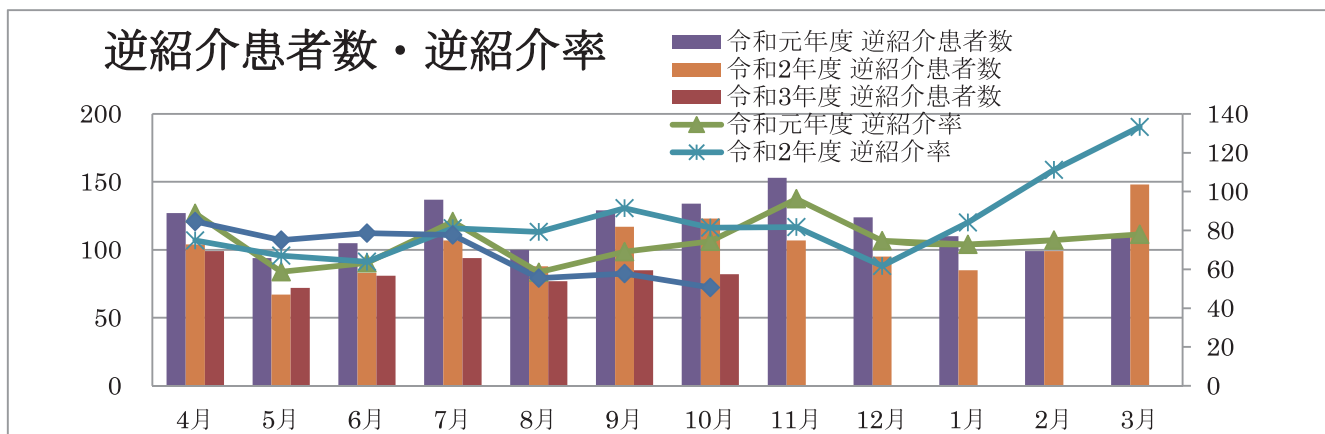
呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては24時間対応させていただきます。夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131（代表）または 0852-24-7671（地連）

紹介患者数・紹介率 / 逆紹介患者数・逆紹介率の推移



退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています



R3年 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
退院支援患者		173	128	141	151	174	155	153	143
退院先	在宅	109	81	76	92	66	101	95	103
	施設	3	4	4	5	3	6	0	2
	病院	7	9	0	3	5	7	5	11

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させていただいた患者さんの割合です

逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数（休日、夜間の救急患者を除く）

外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和4年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科		岩本(初)	西川(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
		西川	小林	岩本		木村	
		井岸	門脇	池田	坪内	小林	
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
脳神経内科		中島 (完全予約制)	古和	深田	足立	交替制	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
		中野	下山		細田		
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 松村 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 涉 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	予防接種		(予約)				
麻酔科	腰痛外来			西村 (予約)			【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
特	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 涉 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		
殊	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	
外	咳嗽外来					池田 (予約)	診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 地域医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 地域医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
来	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		Matsue Medical Center
	もの忘れ外来			深田			
その他	セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15：00～17：00（要予約） 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14：00～16：00（要予約） 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13：00～15：00（要予約） 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10：00～12：00（要予約） 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00（要予約） 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9：00～12：00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9：00～12：00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンド オピニオン外来	診療日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。	